



園長だより

No.9.R6.6.3(Mon)

いよいよ今週末は運動会です!!

ふじ組の(プログラムラストの)リレーでは、練習の段階から涙々...
思う様な順位じゃなくて悔し涙、いい順位になれて嬉し涙、抜かれて
しまって、これ又悔し涙、抜いて嬉し涙、そんな子ども達の真剣な
表情を見て、先生も(私も!)子ども達の心がストレートに伝わり、涙...
今から(練習の時から)こんなに感動しちゃんだから、本番は
どうなっちゃうんだろうと、子ども達も先生達も想いはひとつで、
期待に胸を膨らませています。

うめ組もも組さんは、走っても踊っても何をやってもかわいくて
さくら組さんの「トサこいソーラン」も鳴子を手にも踊る姿は正に
「かわかこい!!!」(かわいくて、且つかこよくて!!!)です!
どの学年も運動会に向かって一直線!当日は、お父様もお母様も来て
下さり、甘えちゃったり、涙してしまう子もいるかもしれませんが、子ども達も
精一杯頑張ります!ご期待下さいね!



土砂災害訓練での温か過ぎるシーン

先日、ふじ2組・3組 園舎北側の山が多くの雨量により崩れた
との想定で、(園内で)避難訓練を行いました。
その時のエピソードです!!

新園舎北側の山の斜面

土砂崩れが発生したとの想定で、旧園舎2下へ避難していた時、階段上段に居たふじ組さん。階下で足が止まってしまう(戸惑っている)もも組さんを見つけ、すかさず降りて掛け寄り、その子の顔を覗き込んで、何か声を掛け「大丈夫だよ」安んませてあげた上で、手を取って一緒に階段を登ってくれたんです。私達大人でも思ったり気づいてもすぐに行動に移す事って正直、難しくないでしょうか。その子のとっさの判断と行動力には、感心すると同時に、先週号(No.8)でも話題にさせて頂きましたが、日々の異年齢での関わりから育まれる、他者や年下の子に対する思いやりにも他なりませんね!

同時に、自分の命は自分で守る「自助力」、周りの人と助け合う「共助力」をも、志都呂幼稚園の子は、力強く持っている事が、ストレートに伝わり、その温か過ぎる光景をとっくとも嬉しく見守りました。

番外編、そんな光景の片わらで...

ふじ組さんが連れていってくれる事が分かったもも組さんの女の子。自分からサッと近くに居たふじ組さんを見つけ、手をぎゅっと握って、自ら先導して歩き出したんです。逆に手を握られたふじ組さんも一瞬驚いた表情でしたが、すぐに状況を理解し、「一緒に行こう」と二人で避難していました。もも組さんの力強い「生きる力」に脱帽でした。

地域の消防署の方にも現場を見て頂いてあります。「竹林があり、かなりの根がはびこっていて頑丈ですから、『大丈夫』とは言いきれませんが、崩れる事はまず無いかと...」と頂いていますが、昨今の異常気象です。あらゆる災害を想定し、常に防災意識を高く持て、取り組んでいきたいと思っています。